

2019年度 新任薬剤師研修会(宿泊研修) (案)

～今の自分を考え、これからの自分を見つけるために～

秋に開催する宿泊研修では、薬剤師として働く様々な仲間との交流を通して、今の自分を考え直す機会となるような企画を用意しています。

病院・薬局等で日常よく経験する症例を用いてグループで検討してもらい、講師によるレクチャーも行います。研修会のテーマである「医療人薬剤師」を半日・初期研修と宿泊・応用研修を通して考えてもらい、病院や薬局の各立場で適正な薬物療法を提供することにより、患者さんにどのように安心を与え、また信頼される薬剤師を目指すためにどうすべきかを考えていただきます。

宿泊研修でしか得られないものがきっと見つかるはずです。

共 催：岐阜県病院薬剤師会、岐阜県薬剤師会

日 時：2019年9月21日（土）～ 9月22日（日）

会 場：かんぼの宿 岐阜羽島（〒501-6323 羽島市桑原町午南1041 TEL 058-398-2631）

項 目	講 師	[敬称略]
-----	-----	-------

9月21日（土）

会長講演

吉村 知哲（岐阜県病院薬剤師会 会長）

I. 臨床における薬剤師業務<1> 体験型研修+症例検討

①吸入指導の実際と症例検討

古田 和也（大垣中央病院）

②インスリン指導の実際と生活習慣病に関する症例検討（チーム医療における薬剤師の位置づけ）

市川 綾華（松波総合病院）

ファシリテーター：市川綾華, 種田靖久, 木村繁和, 酒向佑也, 藤井佑季, 古田和也, 松本利恵, 吉田達彦

II. 臨床における薬剤師業務<2> 現場からみた処方設計と情報提供の実践

①配合変化を考える

②バイタルサイン・検査値からの体液評価と輸液の処方設計

種田 靖久（大垣市民病院）

ファシリテーター：市川綾華, 木村繁和, 酒向佑也, 藤井佑季, 古田和也, 松本利恵, 吉田達彦

III. 自由討論

～患者から求められる薬剤師とは～ 「薬剤師の連携と使命について考える」

ファシリテーター：市川綾華, 岩田麻里, 種田靖久, 木村繁和, 酒向佑也, 藤井佑季, 古田和也, 松本利恵, 吉田達彦

9月22日（日）

IV. 臨床における薬剤師業務<3> 現場からみた処方設計と情報提供の実践 2

入院持参薬における入院患者への処方設計

藤井 佑季（朝日大学病院）

退院処方薬に対する薬局薬剤師からのアプローチ

酒向 佑也（つば川薬局）

ファシリテーター：市川綾華, 種田靖久, 木村繁和, 酒向佑也, 古田和也, 松本利恵, 吉田達彦